

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社
2021年3月5日

防災防犯ガラス「ラミペンシェルター™」を墨田区（東京都）へ寄贈

日本板硝子株式会社（東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：森 重樹、以下「NSG」）は、墨田区に防災防犯ガラス「ラミペンシェルター™」*を寄贈しましたので、お知らせいたします。

近年、大型台風や地震等の自然災害が頻発し激甚化している中、NSGでは安心して安全な空間作りに貢献する防災防犯ガラスの普及拡大に取り組んでいます。合わせガラス製品である「ラミペンシェルター™」は、優れた耐貫通性能と飛散防止性能を有します。強風でもものが飛来しても中間膜が貫通を妨げ、破損したガラスを飛び散りにくくするため、災害避難場所等の建物の防災対策用途をはじめ、一般住宅での防犯・防災用としても使用拡大が想定されます。

寄贈された「ラミペンシェルター™」は、文化交流等の場としても広く利用されている曳舟文化センターの一角に設置され、今後、区とセンターの指定管理者との間で、災害時における応急対策活動への協力に関する協定を締結し、施設の一時利用などについて検討していく予定です。

NSGは今後とも、高付加価値製品の提供を通して、より快適で安心安全な生活空間の創造に貢献して参ります。



贈呈式写真 左から：
山本 亨 墨田区長
宮之本 昭二 NSG 建築ガラス事業部門 日本統括部長

「防災防犯ガラス ラミペンシェルター™」を設置した
曳舟文化センターの施設

以上

(参考情報)

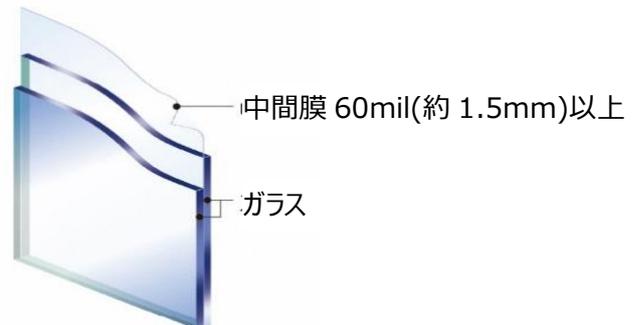
防災対策、まずは窓から。

防災防犯ガラス

防災防犯ガラス「ラミペンシェルター™」は、2枚の板ガラスの間に合成樹脂の60mil（約1.5mm）以上の中間膜をはさみ、圧着した合わせガラスのことです。耐貫通性に優れ、万一破損しても破片がほとんど飛び散りません。合わせガラスは高い安全性が求められる自動車のフロントガラスにも採用されています。

URL: <https://glass-wonderland.jp/product/lamipane-shelter/>

ラミペンシェルター™の参考構造図：



ラミペンシェルター™の特長：



台風・強風時、飛来物によるガラス破壊の被害を軽減します。



地震発生時、家具等が衝突した際の破損に対する飛散防止性能もあります。



ガラスに挟まれた中間膜の特長を活かし、音を出さずに侵入する「こじ破り」への対策が期待できます。



ガラスに挟まれた中間膜は、紫外線（UV）カット効果を発揮することが可能です。

当製品は、一般財団法人ベターリビングが制定するBL-bs部品「防災安全合わせガラス」の認定を取得しています。また、板硝子協会が定義する「防災安全合わせガラス」の対象製品です。

防災安全合わせガラス



NSGグループ（日本板硝子株式会社およびそのグループ会社）は、建築用、自動車用および高機能ガラスの分野において世界最大のメーカーのひとつです。従業員数約27,000人、約30カ国に主要製造拠点を有し、100カ国以上で製品の販売を行っています。 <https://www.nsg.co.jp/>

<お問い合わせ先>

(報道関係等)

IR・広報部 Tel : 03-5443-0100

(「ラミペンシェルター™」製品関連)

お客様ダイヤル Tel : 0120-498-023

IR・広報部

東京都港区三田 3-5-27

Tel : 03-5443-0100